



西ヨーロッパからベウジェツへの移送は、1942年3月24日から始まった(91頁参照)。2日後、ユダヤ人のアウシュヴィッツ移送が始まった。第1陣はスロヴァキア、第2陣がフランスからだった(地図112)。アウシュヴィッツでは、全員がバラックへ収容された。ガス室送りには、1942年5月4日まで行なわれなかった(100頁参照)。

1942年3月27日に実施されたフランスからのアウシュヴィッツ移送は、7カ月前パリで狩り込みであつて拘留された外国生まれのユダヤ人が対象であつた。その出身地は、北アフリカのマラケシュ、パレスチナ(当時)のハイファから、ロンドン、そしてクリミア半島のシンフェロポリとさまざまで、その多くは、第一次世界大戦後、新しい生活の場を求めてフランスへ行った人々である。難民としてフランスへたどり着いた者もある。しかし、大半はポーランド出身者だった。第三帝国領へ編入された地域の人である。

パリからの第一次移送には、1936年にポグ

ロムがあつたプシテイク(3人死亡、21頁参照)出身者もいた。名前をイスラエル・フレボフスキといつた。26歳になるヘンリー・エックシュタインという人はロンドン生まれだった。ラザール・ムノーヒンという人は、ユダヤ人が初めてSSの移動抹殺隊に抵抗したタタルスク(1941年秋、76頁参照)出身者だった。アウシュヴィッツ出身者もいる。41歳のモーゼス・シュナイダーがそうで、生まれた頃のアウシュヴィッツは、オーストリア・ハンガリー帝国の市場町であつた。

1942年3月27日パリ発の移送列車は、SSによって時間通りに1分の狂いもなく運行された。午後5時0分にパリを発車、翌日午後1時59分第三帝国々境到着、アウシュヴィッツ着は3月31日午前5時33分であつた。

フランス生まれのユダヤ人も、厳しい反ユダヤ措置の対象となつた。1942年3月29日、すべてのユダヤ人は、公共の場所、広場、レストラン、カフェ、図書館、公衆浴場、庭園、運動場への立入りを禁止された。